チュラロンコーン大学 - 東京医科歯科大学研究教育協力センター

ニュースレター 第2号

2013年10月25日





東南アジアからの留学希望者への情報提供

チュラロンコーン大学―東京医科歯科大学研究教育協力センターの主な活動の1つに、東南アジアからの本学留学希望者への情報提供があります。本年8月21日から23日までバンコクのプラザアテネホテルで行われた「第2回国際歯科研究会アジア太平洋地区会議 (IADR-APR)」の会場にブースを借りて、本学留学希望者への情報提供を行いました。チュラロンコーン大学はじめタイの各大学、東南アジアの大学の他に、韓国、中国や遠くエジプト、フィジーなど多くの関係者がブースに立ち寄りました。200部用意した留学案内書は、あっと言う間になくなり、立ち寄った学生から本学への留学方法、奨学金などの質問があり、本学の教員、大学院生(留学生含む)が熱心に答えていました。会場のブースには、本学のポスター(ロールアップ)や大学院の卒業ガウンを飾りました。皆さん、このガウンに興味津々でした。それから、元留学生は、ブースのメッセージボードに、本学に対する思いを数多く寄せていました。参加者は下記の通り(敬称略)

教職員:森尾郁子、福井雄二、關奈央子、小野田勝次、古舘藍子

大学院生:浅川裕也、佐藤健人、鈴木奈月、前川祥吾、前川南、丸山緑子、浦岡有里、Ei Ei Aung,

Romero M. J. Rosano Hernandez, Sawuti Abuduwaili, Rumana Khanom



学生に説明するロメロさん



立ち寄ったタイの学生

タイ歯科医療研修実施(学生交流)

本学歯学部歯学科、口腔保健学科の学生14人は、本年8月20日から9月10日までタイを訪問し、チュラロンコーン大学歯学部やシーナカリンウイロート大学歯学部、人文学部日本語学科の学生と交流すると共にチュラロンコーン大学歯学部で研修などを行いました。今回は、チュラロンコーン大学歯学部の学生たちとタイ東南部のラヨン県のプリマス海岸でリトリート(合宿研修)をしました。両大学の学生は、混成グループを作り、「夢の歯学教育カリキュラム」について熱心に討論しました。また、文化交流の一環として、海岸近くで、本学の学生たちが浴衣姿で茶道を披露しました。スチット歯学部長も日本の心を味わっていました。学生たちは、学生交流、歯学研修のあと、「歯」の健康セミナー、相談会と日系幼稚園の園児他の歯磨き指導を行いました。参加者は下記の通り(敬称略)

教職員:川口陽子、森尾郁子、石田雄之、關奈央子、小野田勝次、柴田真希

学生: 歯学科4年: 石渡弘道、河合陽介、小林駿、谷口雄基、徳永佳紀、岸美沙子、佐藤瑠香、

高田嘉宝、藤田優華、宮原琴美

口腔保健学科4年:小川真央、篠崎由季、平山貴恵、森下文華



参加者の集合写真



リトリートのグループ討議



実習見学



プリマス海岸のリトリート



リトリートの集合写真



お点前の披露(佐藤さんと徳永さん)



プリム副歯学部長とスチット歯学部長

タイ在留邦人の「歯」の健康セミナー・相談会

本年9月8日、バンコクのクイーンズパークホテルにて、日本人学校の保護者、生徒、児童を対象に第2回「歯」の健康セミナーと相談会を行いました。本年も、元留学生のタイの先生方と一緒に相談会を行いました。48人の親子連れが参加してくれました。関心の多くは、子供の歯でしたが、中には自分のインプラントについて質問する保護者もいました。会場では、本学の歯学部学生による歯磨き指導も行われ、親子で熱心に歯磨き指導を受けていました。参加者は下記の通り(敬称略)

教職員:小野芳明、黒田真司、須田智也、簡野瑞誠、關奈央子、東堀紀尚、藤田晴子、道泰之、 森尾郁子、福井雄二、石田雄之、小野田勝次、古舘藍子、

学生:石渡弘道、河合陽介、小林駿、谷口雄基、徳永佳紀、岸美沙子、佐藤瑠香、高田嘉宝、藤田優華、 宮原琴美、小川真央、篠崎由季、平山貴恵、森下文華

タイ人医師: Pornpoj Fuangthantip, Chidsanu Changsiripun, Paksinee Kamolrattanakul, Narongsak Laosrisin, Atiphan Pimkhaokham, Choltacha Harnirattisai, Kazuyo Yoshida



開会の挨拶 (森尾教授)





関係者集合写真

バンコク日系幼稚園での歯磨き指導

本年9月9日、本学の教職員と歯学部学生は、バンコク市内の日系幼稚園「レインボー幼稚園」を訪問して、3歳から5歳の園児に歯磨き指導を行いました。昨年は、4歳児、5歳児でしたが、3歳児から来年は自分達もして欲しいという声があり、本年は、3歳児まで対象を広げました。また、この歯磨き指導を保護者にも理解して貰うため、世話役の保護者の皆さんに参観して貰いました。学生たちの紙芝居による歯磨きの重要さの説明には、多くの園児が楽しそうに見入っていました。また、保護者の皆さんは、園児の様子を見ながら、熱心にデジカメのシャッターを切っていました。

参加者は、下記の通り(敬称略)

教職員: 森尾郁子、石田雄之、關奈央子、小野田勝次、古舘藍子

学生:石渡弘道、河合陽介、小林駿、谷口雄基、徳永佳紀、岸美沙子、佐藤瑠香、高田嘉宝、

藤田優華、宮原琴美、小川真央、篠崎由季、平山貴恵、森下文華



歯磨き指導



園児との集合写真

大腸がんスクリーニングプロジェクト

国際協力機構(JICA)の草の根協力事業の「大腸がんスクリーニングプロジェクト」に関して、本年4月22日、本プロジェクトの合意書の調印式がチュラロンコーン大学医学部で行われ、関係者の出席のもと、江石副医学部長とアンノップ(Dr.Unnop)副医学部長が本プロジェクトの合意書に署名しました。これは、文京区の委託を受け、今後3年間にわたり、本学医学部関係者によりチュラロンコーン大学関係者に大腸がんスクリーニングの技術指導と人材育成を行うものです。



アンノップ副学部長と江石副医学部長



署名後の集合写真

マヒドン大学シリラート病院医学部との協力



署名後の集合写真

本年7月22日、マヒドン 大学シリラート病院医学部の ウドム(Dr.Udom)医学部長他 が本学を訪問し、両医学部間 の学術協定書の調印式が行われ、ウドム医学部長と湯浅医 学部長が協定書に署名しました。これにより、同大医学部 は、本学と協定を結んだタイの大学医学部としては、チュラロンコーン大学医学部に続いて2番目の医学部になります。

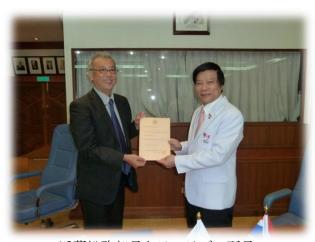
タイ国立がんセンターとの協力

本年7月16日、タイ国立がんセンターにて、同センターと本学医学部との学術協定の調印式があり、江石副医学部長と同センターのティラブー所長(Dr. Thiravud)が協定書に署名しました。タイ国立がんセンターは、約40年前に日本が、がん対策の技術指導をしたセンターで、東南アジアでのがん対策の先駆けとなったセンターです。今後、本学と大腸がんなど、がんに関する研究協力が期待されています。



江石副医学部長とティラブー所長

タイ国立がんセンター所長に客員教授の名称付与



近藤総務部長とティラブー所長

タイ国立がんセンターのティラブー所 長は、1980年、本学医学部をタイ人とし て初めて卒業し、タイに帰国後、タイのがん 対策に半生を打ち込まれた先生です。本年9 月16日、タイに出張中の近藤総務部長から 同所長に本学の客員教授の名称付与された旨 の辞令書が交付されました。今後は、大腸が んスクリーニングプロジェクトなどへのアド バイスを頂くことになりました。



式典後の集合写真

チュラロンコーン大学医学部関係者による研修説明会



研修説明会

一昨年度から本学医学部は、プロジェクト・セメスター制度により学生をチュラロンコーン大学に派遣していますが、本年度は、事前に説明会を行うこととしました。本年3月4日から7日まで、アピワット教授(Dr. Apiwat)他チュラロンコーン大学医学部の関係者が来日し、本学を視察すると共にプロジェクト・セメスター制度に関心のある学生を対象に研修説明会を行いました。その結果、本年度は3名の学生が10月から同医学部に派遣されることになりました。

大学院保健医療研究科関係者がチュラロンコーン大学と協議

本年7月14日から17日まで、 本学大学院保健医療研究科の戸塚教 授、赤沢教授、沢辺教授が、江石副医 学部長他と共にチュラロンコーン大 学総合保健科学部(Faculty of Allied Health Sciences)を訪問し、プラウット(Dr. Prawit)学部長他の歓迎を受け、 両大学の紹介及び今後の協力につい ての協議を行いました。これは、事前 に同総合保健科学部から本学に対し、 学術協力について要請があり、これを 受けて本学関係者がタイを訪問した ものです。この結果、本年11月8日 に学術協定を結ぶ予定です。



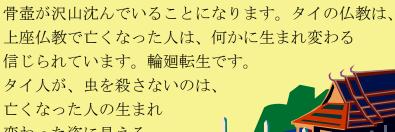
協議後の集合写真

街角トーク イン バンコク

なんでお墓がないの?

タイは、仏教国です。エメラルド寺院、ワットポー、ワットアルーンなど、バンコクのお寺は観光名所になっています。ところで、皆さんは、お寺に行って、仏様を拝むことはあっても、お墓を見たことがありますでしょうか。

実は、タイの仏教徒の墓地がありません。筆者もタイ人の葬儀に参列したことがあります。まず、お寺の一角にあります葬儀場で葬儀が数日間行われます。この葬儀は、日によって喪主が変わります。ある日は親族が、ある日は友人が、ある日は会社が喪主になります。そして、葬儀の後、同じくお寺にある火葬場で遺体を荼毘に付します。さて、遺骨はどうなるのでしょう。主には、丁重に骨壷に入れ、川に流します。考えるとチャオプラヤ川の河口は、



変わった姿に見えるのかも知れません。

拠点所在地

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,

11 floor Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University, Henri-Dunant Road, Bangkok, Thailand

本学内事務局

第1号館西4階 国際交流センター 電話 03-5803-4962 E-mail bkk.onoda.isc@tmd.ac.jp

文責:小野田勝次